

三溪園(横浜市)

ここが三溪園の正門



「大池」越しに見る「旧燈明寺三重塔」



アップで見たところ



「大池」を時計回りに進む/遠方に見えるのは鶴翔閣



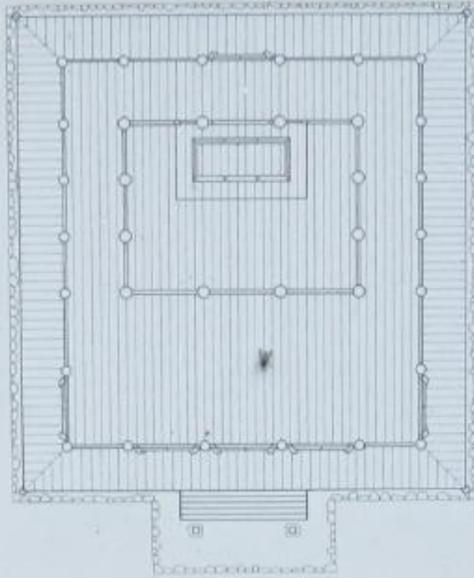
さて、ここは「三溪園天満宮」



これは「旧燈明寺本堂」/室町時代初期の建築/1987年に三溪園に移築/重要文化財



燈明寺は江戸時代に宗派が変わった際に東明寺から燈明寺に改名された



燈明寺は現在廃寺となっていますが近年まで京都府相楽郡加茂町に所在した日蓮宗の寺院です。寺伝によりますと聖武天皇の勅願によって天平7年(735)に開創されたといわれています。この建物は、様式上、室町時代初期に建てられたものと推定されます。昭和22年の台風で被害を受けた後解体し保存されていましたが、昭和62年(1987)に三溪園に移築されました。

THE MAIN HALL OF OLD TOMYOJI
[Important Cultural Property]

The Tomyoji Temple, like the Three-storied pagoda, was formerly located in Kamo Village in Kyoto. After being damaged by a typhoon in 1947, the main hall was disassembled and put in storage. In 1986, it was transferred to the garden and restored.

구동명사 본당

旧燈明寺本堂

旧燈明寺本堂
(重要文化財)

左側面

























石仏がある



ここは「旧矢筈原(やのはら)家住宅」/江戸時代の建築/1960年に移築/重要文化財



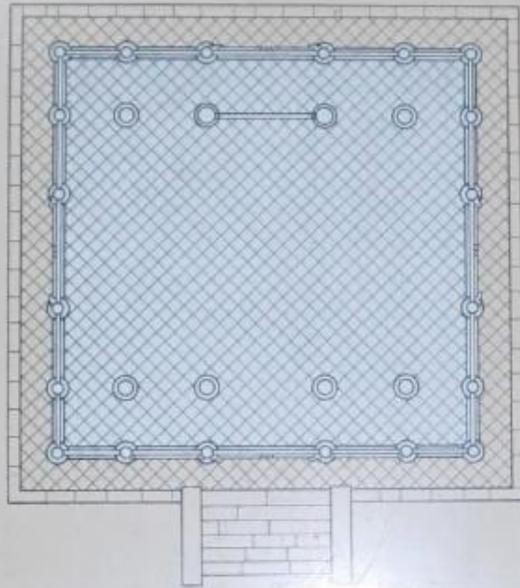
白川郷にあった合掌造りの茅葺屋根古民家





これは縁切寺として鎌倉にあった「旧東慶寺仏殿」/江戸時代(1634年)の再建/1907年に移築/重要文化財





この建物は、室町時代永徳二年(1509)直後に再建された鎌倉東慶寺の仏殿です。明治40年(1907)三溪園に移築されました。東慶寺は弘安8年(1285)北条時宗の妻覚山尼が創建した寺院で駈込寺あるいは縁切寺として有名でした。

OLD TOKEIJI SANCTUM
[Important Cultural Property]

This sanctum of the Zen Sect style was moved to the garden in 1907, from the compound of the Tokeiji Temple in Kamakura. The sanctum is thought to have been rebuilt around the Muromachi period because of its form, and it maintains well the features of the Zen Sect style.

旧東慶寺仏殿

(重要文化財)





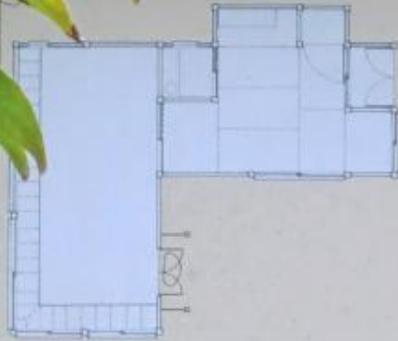






これは「横笛庵」/建築年不明





横笛庵

よこ
ぶえ
あん

高倉天皇中宮建礼門院に仕えた横笛と平重盛の家臣滝口入道(齊藤時頼)との悲恋は有名です。横笛は寺にこもり入道から送られた千束の恋文をもって己の像をつくりました。その像がこの庵に安置されていましたが第2次大戦中に被害を受け失われてしまいました。

YOKOBUEAN

여코보에안

横笛庵

The Yokobuean is a country-style tea arbor and it is so named because in this arbor, there was a statue of Yokobue, a tragic heroine of a famous love story.

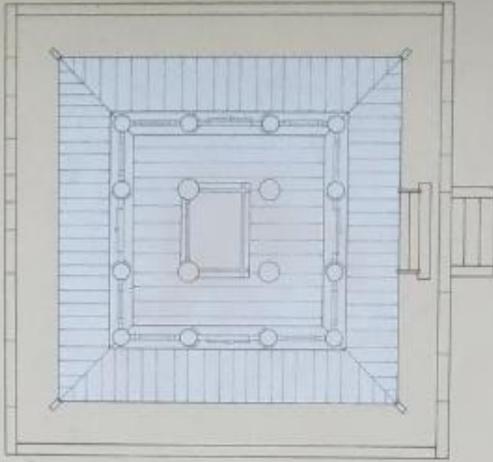
さて、丘の上に「旧燈明寺三重塔」が見えてくる



これが「旧燈明寺三重塔」/室町時代(1457年)の建築/1914年に移築/重要文化財



関東では最古の塔という



この建物は、もと京都府相楽郡加茂町の燈明寺にあったものを大正3年(1914)三溪園に移築したものです。寺伝によりますと燈明寺は天平7年(735)聖武天皇の勅願によって建てられた寺院とされています。建物の様式などから、室町時代に建てられたものと推定されます。関東では最古の塔です。

THREE-STORIED PAGODA OF OLD TOMYOJI
[Important Cultural Property]

This pagoda was moved to the garden in 1914 from the Tomyoji Temple in Kamo Village, Soraku District in Kyoto. Tomyoji is a temple which was built under the Emperor Shomu in 735. Surveys indicate that this pagoda was built Muromachi period because of its style. It is the oldest pagoda in the Kanto region.

古蹟評定重要文化財
旧燈明寺三重塔

旧燈明寺三重塔
(重要文化財)

どうみょうじさんじゅうのとう

三層部(脇間連子窓、中備えは中央のみ間斗束)



二層部(脇間連子窓、中備えは三間とも間斗束)



一層部(中央間板唐戸、脇間板張り、中備えは三間とも間斗束)/三層とも三手先組物、二軒繁垂木/高欄のない縁が巡る



これは出世観音



ここは松風格(展望台)



本牧の街が一望できる



さて、「大池」まで下りてきたところ



これは原富三郎三溪の碑



三溪原富太郎翁は慶應四年に生れ昭和十四年に
まれはやく生糸の輸出に製糸業の経営にまた関東
震災後の横浜の復興に終吾心に盡力せられし事業
別に後代に在ふる人あら三溪園は翁これと創設し
各地より古建築物を移築内外人の遊覧に公開せら
又自ら風雅に至り深き或画人をも後援し或は
詩宗をその客たらしめなせられきここに高節を憶
讃歌に曰く山の上の古塔に守り池をひ道風やはら
ぎゆいたる佐佐木信

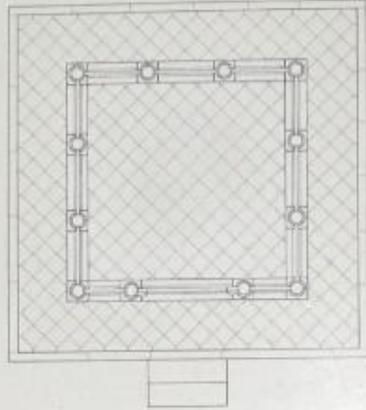
そこから丘の上の「旧燈明寺三重塔」を見上げたところ



これは「旧天瑞寺寿塔覆堂」/安土桃山時代(1591年)の建築/1905年に移築/重要文化財



豊臣秀吉が母のために建てた寿塔を覆うための建物



寿塔とは長寿を祝って生存中に建てられるものです。豊臣秀吉は、その母大政所が大病にかかったとき、その平癒祈願のため京都大徳寺内に天瑞寺を建てました。功験あって平癒したので喜び、母の長寿を祝って天正20年(1592)石造の寿塔を建てました。

この建物はその寿塔の覆堂で、明治38年(1905)三溪園に移築されたものです。なお寿塔は現在大徳寺内、竜翔寺にあります。

OLD TENZUJI JUTO OIDO 구원저사수탑복당
[Important Cultural Property] 旧天瑞寺院塔覆堂

A Juto (longevity tower) is a kind of gravestone erected in ancient times during one's lifetime to celebrate one's own or others' longevity. Hideyoshi Toyotomi built the Tenzuji Temple in the courtyard of the Daitokuji Temple in Kyoto to pray for his mother while she was seriously ill. Grateful for her recovery and celebrating her longevity, he constructed a Juto at the Tenzuji in 1592. The building at Sankeien is only a protecting hall (Oido) of the Tenzuji Juto; the Juto itself is now located in the Ryushoji of the Daitokuji Temple.

旧天瑞寺寿塔覆堂
(重要文化財)













更に進むと「臨春閣」が見えてくる/江戸時代(1649年)の建築/1917年に移築/重要文化財指定



数寄屋風書院の建物で第一屋と第二屋が平屋、第三屋(右手)のみが二階建てである/屋根は檜皮葺き、庇は柿葺き



右手から第一屋と第二屋が平屋、第三屋が二階建て



これは第三屋

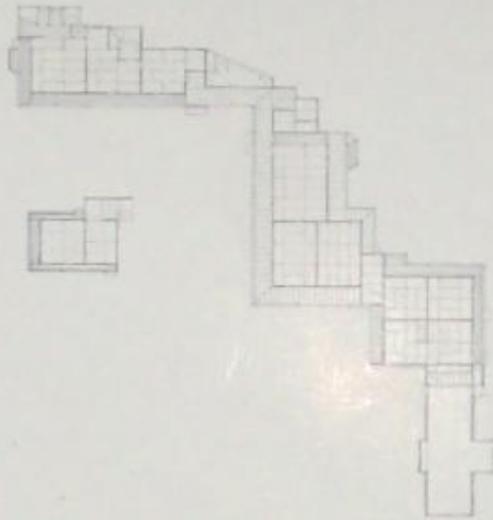


正面が第二屋/右手奥が第一屋



別の角度から





臨春閣

(重要文化財)

この建物は、紀州侯初代の徳川頼宣によって慶安2年(1649)に、和歌山県那賀郡岩出町の紀ノ川沿いに建てられた夏の別荘巖出御殿といわれています。8代将軍吉宗は幼時この巖出御殿に育ち、享保元年(1716)に将軍になりました。また、この建物は数寄屋風書院造として、宮家別荘桂離宮と共に我国住宅史上において別荘建築の双璧といわれています。三溪園には大正6年(1917)に移築されました。

RINSHUNKAKU 임춘각 臨春閣
[Important Cultural Property]

The Rinshunkaku originated from the Iwade Palace Villa which was built on the Kinokawa river of Wakayama City in 1649 by Yorinobu, head of the first Kishu Tokugawa family. The Katsurariyū Villa of the Imperial family is a well-known example of early seventeenth century architecture, while the Rinshunkaku is a villa of the Daimyo (feudal lord) family. It consists of the first, second, and third

参考ホームページ

<http://www2.tba.t-com.ne.jp/oldyokohama/sankeien.htm>

<http://www.h6.dion.ne.jp/~arc-yama/sketch/machi/doc/sankeien.html>

<http://torapi.fc2web.com/200711sankeien.htm>

<http://www.sankeien.or.jp/guide/index.html>

<http://blog.goo.ne.jp/shizuyashizu/e/7da4a06e7a037489e82509cb4bd89256>

<http://www.geocities.jp/kawai5510/tou-kanagawa1.htm>

